

2 個別事業評価調書

団体名： 笠置町

事業名		AED設置事業					
事業の概要		住民として、また行政として身近に医療施設があることは、その地域で生活するうえで非常に重要なことであり、安心で安全なまちづくりに欠かせない要素です。笠置町における最も身近な総合医療施設は、木津川市にある山城病院で、自動車で約30分の距離に位置しています。 しかし、不幸にも突然のアクシデントに遭遇した場合、緊急車両の要請を行い、医療施設に搬送されますが、その緊急車両が到着する数分間に適切な処置ができるかどうかによって、疾病者の回復度合いや生存率に大きく関わるのが新聞紙上等で伝えられています。そのため、もしもの緊急事態に備え、行政として万全の準備が求められています。 そこで、今年度笠置町では安心・安全なまちづくり事業の一環として、現在1台も設置していないAEDの整備を実施しました。					
		事業期間	平成19年7月～平成19年11月				
		総事業費	1,334千円	本年度事業費	1,334千円	交付金交付額	667千円
事業評価	事業の必要性	緊急車両が到着する数分間の救命処置として、AEDの活用が謳われ、近隣のどの自治体でも整備が行われています。救急救命講習ではAEDの取扱方法を交えた講義を行っており、その取扱は電子機器の向上により機械からの支持によって適切に操作することができ、また必要でない疾病者については必要ないこととして指示がある極めて優れた救命器具となっています。また、この講習は受講を希望すれば誰でも受けることから、AEDの普及が高まれば、一層の救命体制が図れ、安心・安全なまちづくりに繋がります。					
	事業の有効性						
	事業の効率性						
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果					
		3 リーディング・モデル成果					
		4 広域的波及成果					
5 行財政改革に資する成果							
6 その他の成果 AEDの必要性から地域ごと(笠置町の行政区は9地域)の設置がベストであると考えますが、財政状況を照らし合わせ、今年度事業としては3基を設置しました(20年度で更に2基設置予定)。設置場所は笠置小学校、笠置会館及び第3セクターであるいこいの館とし、いずれも比較的人が集まる場所を選定することで、効率性を生み出し、また、安心・安全なまちづくりに繋げることができました。							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。